

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局地方道・環境課
担当課長名：徳山 日出男

事業名 地域高規格道路 徳島環状道路 <small>とくしまかんじょうせん こくふ</small> 主要地方道 徳島環状線（国府工区）	事業区分	地方道	事業主体	徳島県
起終点 自：徳島県徳島市国府町観音寺 <small>とくしま こくふ かんおんじ</small> 至：徳島県徳島市国府町池尻 <small>とくしま こくふ いけじり</small>				延長 1.5km
事業概要 主要地方道徳島環状線は、徳島市国府町を起点とし、徳島市八万町に至る、延長約2.5kmの主要幹線道路である。国府工区は、四国縦貫道・横断道・国道192号徳島南環状道路と共に地域高規格道路「徳島環状道路」を形成し、地域の連携強化を図り、慢性的な徳島市内の渋滞を解消し、徳島市及び周辺地域の交通円滑化に資する基幹的な社会基盤である。				
H5年度事業化		H13年度都市計画決定		H6年度用地着手
H12年度工事着手				
全体事業費		240億円		事業進捗率
計画交通量		20,100台/日（自専部）、6,200台/日（一般部）		58%
費用対効果分析結果		総費用		総便益
B/C （事業全体） 2.0 （残事業） 3.0		47/242億円 （事業費：44/236億円） （維持管理費：3.8/5.2億円）		140/485億円 （走行時間短縮便益：112/387億円） （走行費用減少便益：18/75億円） （交通事故減少便益：10/23億円）
				基準年 平成19年
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.9（交通量-10%） B/C=2.2（交通量+10%） 事業費変動：B/C=1.8（事業費+10%） B/C=2.2（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=1.9（事業期間+10%） B/C=2.2（事業期間-10%）				
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞損失解消時間488.5千入時/年） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路に位置づけられている。平成7年4月） 他7項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 徳島環状道路建設促進期成同盟会が設立され、徳島環状線の整備促進について、機会あるごとに国及び関係機関に対して積極的な要望活動が続けられている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 徳島環状線国府工区が接続する（主）徳島鴨島線における交通渋滞はますます深刻化している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は完了しており、一般道路部を平成20年3月に供用開始。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る本線高架橋工事については、徳島外環状道路全体の進捗を勘案しながら着手時期を決定する。				
施設の構造や工法の変更等 本線高架橋の構造形式を検討し、コスト縮減を図る。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。